



看護 とちぎ



「思川桜」 提供：小山市

CONTENTS

- 2 会長あいさつ
- 3 通常総会提出議題
- 4 平成25年度 公益社団法人栃木県看護協会 職能集会プログラム
平成25年度 公益社団法人栃木県看護協会 通常総会プログラム
- 5 平成25年度 公益社団法人栃木県看護協会 理事・監事・委員候補者一覧
- 6 平成26年度 公益社団法人日本看護協会通常総会 代議員並びに予備代議員
- 7 ロコモティブシンドローム
- 8 お知らせ

会員数	9,624人 (H25.4.1現在)
保健師	443人 (4人)
助産師	276人
看護師	8,067人 (573人)
准看護師	838人 (58人)

男子は()で再掲

平成 25 年度栃木県看護協会総会に向けて

公益社団法人栃木県看護協会 会長 河野 順子



会員の皆様には、日頃よりご協力いただき感謝申し上げます。

長く厳しい寒さが続きましたが、ようやく春めいてきて地上のすべてが、元気になる気配を感じているこの頃です。

さて、栃木県看護協会も公益社団法人となって一年が経とうとしています。法人格取得の準備に追われた昨年とは違い落ち着きを感じますが、公益法人は認定を受けてからの監査が重要であると伺っております。さらに、気を引き締めた運営をしていく必要があります。

平成 25 年 6 月末には、いよいよ看護研修センターの増改築工事が終了し、平成 25 年度からの教育、研修はここで行う運びとなります。120 席の研修室を始めとし、図書室では電子媒体による文献検索などを充実し、その他演習室や会議室など拡充した研修センターとなります。併せて、栃木県訪問看護ステーション協議会事務室も一角に入居しましたので、在宅看護の拠点にもなると思っております。

次に「看護職が働く職場の環境づくり」では、ワーク・ライフ・バランス推進ワークショップが 3 年目を迎えます。2 年間の実績として参加病院施設では、職員の士気が向上した報告を受けています。看護職だけの問題としてとらえず、職員全員が自部署の改善に取り組んだ結果の報告であり、この事業が組織横断的に貢献できているものと受け止めております。平成 25 年度のワークショップの参加をお待ちしております。

また、短時間正職員制度導入促進事業では、育児や介護を行いながら就業する支援として、病院への補助金制度があります。離職を考える前にぜひ、自施設に相談してください。併せて、諸都合で離職をしておられる看護職には円滑に職場復帰ができるように、再就業しようと考えている施設で看護業務に就きながら、実務研修と最新の看護技術を習得できる支援があります。ぜひ、ご利用ください。

在宅医療（地域医療）も大きな課題です。在院日数が短くなってきている現状で、居宅や在宅医療が行われています。在宅医療では、多職種がチームを組んでその人を援助します。この時のすべての調整役は看護職であると確信しています。病院の看護職と地域の看護職の連携が、在宅医療での良し悪しを左右することから、退院支援や訪問看護での活躍が求められます。平成 25 年度の研修には、これらも膨らませた計画にしたいと考えています。平成 24 年度から各地区に理事を配置しています。在宅医療や看護と介護の連携など、地域でのきめ細かいケア実践には地区支部長と理事を中心に活躍していただけることを期待しています。

栃木県の新人看護師の離職率も、8%台まで下がりました。皆様のご協力とご指導によるものと感謝いたします。

平成 25 年度もさらなるご協力をいただきまして、事業運営を展開してまいります。

よろしく願いいたします。



通常総会提出議題

公益社団法人日本看護協会の平成25年度通常総会は、6月4日(火)5日(水)に千葉県の幕張メッセで開催され、栃木県看護協会通常総会は、6月15日(土)とちぎ健康の森講堂において開催いたします。
会員の皆様一人ひとりに、提出議題を十分にご検討いただけますよう、その内容についてお知らせします。

報告事項

報告事項1 平成24年度活動報告

報告事項2 平成24年度決算報告及び監査報告

報告事項3 平成25年度重点事業及び事業計画

I. 公益目的事業

1. 看護職の労働環境の改善及び雇用の質の向上等確保定着事業の推進事業

医療の高度化・複雑化や平均在院日数の短縮化を受け、看護業務は増大し、かつ複雑化しており厳しい労働環境の中で、多くの看護職は疲弊している。当協会は、日本看護協会と連動し看護職の確保・定着事業として、平成23年度からワーク・ライフ・バランス推進ワークショップ（以下WLBという）を開催し、これまで8施設が参加しており、公開講座として関心も高まっている。今年度もWLB推進事業を継続していくとともに、事業を周知し広く理解いただくため、研修会を開催し看護職の働き続けられる環境づくりを推進していく。

2. 看護の安全性・専門性の向上と実践能力の強化に関する事業

医療を取り巻く社会の変化と看護職に求められる役割遂行の実現を目的に、前年度に引き続き継続教育の充実を図り、看護職のキャリア開発および、チーム医療の中心的役割を持つ看護職の安全性・専門的知識技術能力を高め現場で役立つ研修内容とする。地区支部研修では、看護職としての基礎知識を中心に地域にあった内容を計画した。研修会場は、吉野町の看護研修センターを中心に行う。また、今年度は昨年度に引き続き看護教員養成研修事業、指導看護師および、介護職員等対象の喀痰吸引等研修を、県の受託事業として行う。

災害支援に関しては、災害支援ナースとして迅速に対応できるよう実践能力を習得する研修を行う。

3. 在宅ケアの推進と支援に関する事業

高齢社会の進展、急性期施設における在院日数の短縮など、在宅療養のニーズが更に、高まっている。当協会は、8つの訪問看護ステーションと、5つの居宅介護支援事業所を運営している。小児や終末期、遠距離等、他事業所での受け入れ困難での事例を積極的に受け入れ、公益社団法人としての役割を果たしていきたい。また、利用者及び家族の生活を尊重し、在宅で療養生活が豊かに過ごせるよう、特に介護職等関係機関と連携を図り、地域に根差した質の高い看護サービスを提供するため訪問看護養成研修会や訪問看護ステーション管理者研修や新人研修等人材育成の研修会を開催する。更に、退院支援・退院調整や地域連携に関連した研修内容を充実させ、施設から在宅への切れ目ないスムーズな移行と看護職の役割の支援を行う。

4. 看護を普及啓発し、県民への健康づくり支援

看護職への理解と関心を深めるため、ふれあい看護体験（1日体験）や看護への道を作成し、県内看護学校等に情報提供すると共に、5月11日に行われる「看護の日」記念行事に、看護体験発表及び記念公演会を開催し、看護に対する県民の理解を図る。また、地域ではイベント会場やショッピングセンターで「まちの保健室」を開催し、健康相談などを通して県民の健康づくりを支援する。

また、災害発生時における県民の安全を図るため、災害医療本部の保健福祉班のメンバーとして医療機関等関係団体と災害医療体制の整備に向け検討する。

II. その他の事業

1. 公益社団法人事業の展開と組織強化

平成24年度より、公益社団法人栃木県看護協会としてスタートした。着実な事業を展開する。平成23年度には会員が1万人を超えたが、入会率は52%である。入会者の少ない医療施設や福祉施設にも、継続的に入会の働きかけをしていく。職能団体としての専門性を発揮するために、会員の増加を目指し組織の拡大を図り、より強固な組織として他職種との連携を密にしながら、自らの能力を発揮することを推進していきたい。

〔主な事業〕

1. 第27回栃木県看護大会及び第23回「看護の日」記念行事

期 日 5月11日（土）

場 所 栃木県総合文化センター メインホール

記念公演 「ダウン症の子と生きて」

講 師 金沢泰子氏

「ふれあい看護体験」発表

高校生2名、看護学生1名の発表

2. 第44回日本看護小児看護学術集会

期 日 9月12日（木）・13日（金）

場 所 宇都宮市文化会館

テ ー マ 「健やかな子どもの成長・発達のために」

－その子らしさを支える小児看護－

特別公演 「子どもの未来が輝くために」

～今、本当に必要なこと～

講 師 尾木 直樹

教育公演、セミナー、シンポジウム、看護研究発表

報告事業4 平成25年度収支予算

報告事項5 看護協会研修センター増改築工事について

提出議題

第一号議案 平成25年度改選役員及び推薦委員の選任（案）

第二号議案 平成26年度日本看護協会通常総会代議員及び予備代議員の選出（案）



平成25年度 公益社団法人栃木県看護協会 職能集会プログラム

開催日 平成25年6月15日(土)

種別	保健師	助産師	看護師
会場	とちぎ健康の森 1階 小会議室	とちぎ健康の森 2階 教室A	とちぎ健康の森 2階 講堂
プログラム	8:40 受付	8:40 受付	8:40 受付
	9:00 オリエンテーション 開会 委員長挨拶	9:00 オリエンテーション 開会 委員長挨拶	9:10 オリエンテーション 開会 委員長挨拶
	9:10 栃木県保健福祉部保健福祉課 人材育成担当 金澤 優子課長補佐挨拶 「保健師を取り巻く動向について」	9:05 日本看護協会助産師職能集会報告 9:30 栃木県看護協会助産師職能委員会 報告 1. ヒューマンフェスタ参加 ・まちの保健室 2. 縫合研修 3. 新人助産師交流会 4. 助産師だより ・ミッドワイフトーク 5. こうのとりにネットワーク	9:20 日本看護協会看護師職能集会報告 9:30 栃木県看護協会看護師職能委員会 報告 1. 研修会：地区支部との交流会 「看護職の労働環境について」 2. 研修会：老人福祉施設・療養 型病院等の看護職との交流会 「安全性から考えた看護師として 取り組む認知症ケア」
	9:25 日本看護協会保健師職能委員会 報告		
	9:30 栃木県看護協会保健師職能委員会 報告		
	9:50 休憩	9:45 休憩	9:50 休憩
	10:00 講演 「今、本気で伝えたいこと」 ～保健師活動指針の見直しの プロセスの中で～ 講師 日本看護協会理事 中板育美	10:00 講演 「地域連携支援助産師の立場から」 講師 真岡市健康福祉部 健康増進課母子健康係 助産師 渡邊利子	10:00 講演 「平穏死という選択」 講師 芦花ホーム医師 石飛幸三
	11:50 質疑応答	11:30 閉会	11:30 質疑応答 11:40 閉会
12:00 閉会			

平成25年度 公益社団法人栃木県看護協会 通常総会プログラム

日時 平成25年6月15日(土)

場所 とちぎ健康の森 2階 講堂

- 12:00 開場
オリエンテーション
- 13:00 開会
物故会員への黙祷
会長挨拶
来賓祝辞
来賓紹介(祝電披露)
(休憩)
- 13:30 議長団選出
議事録署名人選出
- 13:40 議事
報告事項
報告事項1 平成24年度活動報告
(理事会・事業・委員会・地区支
部活動・訪問看護ステーション及
び居宅介護支援・事業・日本看護
協会通常総会代議員)
- 報告事項2 平成24年度決算報告
及び監査報告
- 報告事項3 平成25年度重点事業及び事業
計画
- 報告事項4 平成25年度収支予算
- 報告事項5 看護協会研修センター増改築
工事について
- 提出議題
第一号議案 平成25年度改選役員及び推薦
委員の選任(案)
第二号議案 平成26年度日本看護協会通常
総会代議員及び予備代議員の
選出(案)
- 15:40 新役員の紹介・旧役員への謝辞
綱領宣言
協会歌斉唱
- 16:00 閉会



平成25年度 公益社団法人栃木県看護協会 理事・監事・委員候補者一覧

推薦委員会は、平成25年度改選理事・監事・委員候補の推薦並びに立候補者の受付について、委員会活動を続けてきました。公益社団法人栃木県看護協会定款第5章、細則第8章第13条に基づき、理事10名、監事1名、保健師職能委員5名、助産師職能委員5名、看護師職能委員8名、推薦委員7名、計36名の候補者を推薦並びに候補の受付を行いました。

ここに公益社団法人栃木県看護協会定款第5章、細則第8章第13条のとおり、候補をお知らせします。
推薦委員長 市村 利枝

1. 役員 (11名)

	役職名	氏名	施設名	推薦	立候補
1	会長	河野 順子	公益社団法人栃木県看護協会	◎	
2	副会長	理事会で選定		◎	
3	専務理事	理事会で選定		◎	
4	常任理事	馬込 公子	公益社団法人栃木県看護協会	◎	
5	保健師職能理事	小林 智子	県東健康福祉センター	◎	
6	理事	上杉 みつえ	那須赤十字病院	◎	
7	理事	谷田貝 理恵	とちぎメディカルセンター下都賀総合病院	◎	
8	理事	坂上 和江	真岡病院	◎	
9	理事	大関 京子	獨協医科大学病院	◎	
10	理事	五月女 幸子	栃木県立衛生福祉大学校	◎	
11	監事	荒木 剛	荒木税務会計事務所	◎	

2. 推薦委員 (7名)

	役職名	氏名	施設名	推薦	立候補
1	委員	篠原 和子	自治医科大学附属病院	◎	
2	委員	増淵 弥生	済生会宇都宮病院	◎	
3	委員	柴田 由利子	国際医療福祉大学塩谷看護専門学校	◎	
4	委員	野間 祥恵	宇都宮市役所	◎	
5	委員	早乙女 美智子	栃木県立がんセンター	◎	
6	委員	猪熊 洋子	佐野厚生総合病院	◎	
7	委員	大竹 公子	獨協医科大学病院	◎	

3. 保健師・助産師・看護師職能委員 (保5名・助5名・看8名)

	役職名	氏名	施設名	推薦	立候補
1	保健師職能委員	入江 孝子	宇都宮市富屋地区市民センター	◎	
2	委員	高橋 暁子	大田原市役所	◎	
3	委員	富田 倫子	県西健康福祉センター	◎	
4	委員	中山 晴美	県北健康福祉センター	◎	
5	委員	田沼 かおり	栃木県立衛生福祉大学校	◎	
1	助産師職能委員	和田 佳子	獨協医科大学看護学部	◎	
2	委員	堀越 幸子	獨協医科大学病院	◎	
3	委員	柴田 苗美	済生会宇都宮病院	◎	
4	委員	大山 洋子	芳賀赤十字病院	◎	
5	委員	小林 あゆみ	上都賀総合病院	◎	
1	看護師職能委員	印南 裕子	国際医療福祉大学塩谷病院	◎	
2	委員	篠原 明子	芳賀赤十字病院	◎	
3	委員	鈴木 朋美	栃木県立がんセンター	◎	
4	委員	白石 浩子	獨協医科大学病院	◎	
5	委員	清川 明美	宇都宮中央病院	◎	
6	委員	野口 知美	特別養護老人ホームキラリの舎	◎	
7	委員	鈴木 ミツ子	とちぎ訪問看護ステーションおやま	◎	
8	委員	齋藤 美樹	老人保健施設かみつが	◎	

選挙規程の一部改正により、3月1日付文書で役員等の公募をご案内いたしましたが立候補はありませんでした。従って選挙はありません。



平成26年度 公益社団法人日本看護協会通常総会 代議員並びに予備代議員

平成26年度公益社団法人日本看護協会通常総会代議員数について、定款・細則に基づき公益社団法人栃木県看護協会は「12名」の代議員数並びに同数の予備代議員数が決まり、公益社団法人日本看護協会長より通知がありました。

＜選出＞公益社団法人栃木県看護協会の推薦委員会で選出し、通常総会で承認をうける。

＜任期＞1年（再任は妨げない）

＜代議員数＞前々年度の12月末日現在の会員名簿より算出される。

なお副会長、専務理事、常任理事、職能理事、地区理事を含め正会員の中から推薦する。

代議員については、看護師2名、保健師、助産師、准看護師から各1名ずつは最低選出する。

（公益社団法人栃木県看護協会細則第4章第6条2項より）

※公益社団法人日本看護協会定款第4章細則第5章より

推薦委員長 市村 利枝

代議員

	氏 名	役 職
1	石 川 美知子	副会長
2		副会長
3		専務理事
4	馬 込 公 子	常任理事
5	小 林 智 子	保健師職能委員長
6	寒河江 かよ子	助産師職能委員長
7	渡 邊 カヨ子	看護師職能委員長
8	坂 上 和 江	准看護師代表
9	中 山 優 子	宇都宮地区代表
10	塩野谷 晃 江	県東地区代表
11	小 澤 伸 子	安足地区代表
12	齋 藤 由利子	県西地区代表

予備代議員

	氏 名	役 職
1	朝 野 春 美	看護師代表
2	高 橋 信 子	保健師代表
3	野 間 祥 恵	保健師代表
4	篠 原 孝 子	栃木県看護協会
5	入 江 孝 子	保健師職能委員
6	大 山 洋 子	助産師職能委員
7	白 石 浩 子	看護師職能委員
8	平 澤 政 子	准看護師代表
9	柴 野 順 子	宇都宮地区代表
10	小 川 純 子	小山地区代表
11	飯 島 満 枝	栃木地区代表
12	村 上 充 子	県北地区代表

ロコモティブシンドローム

ロコモティブシンドローム — 運動器症候群 — ってなあに？

略して「**ロコモ**」と呼ばれていますが、ご存じでしょうか？
骨や関節、筋肉といった運動器の働きが衰えることにより、暮らしの自立度が低下し、寝たきりや要介護になる危険の高い状態を言います。

では、**ロコチェック**をしてみましょう！！
～思い当たることは、ありますか？～

- ① 片脚立ちで靴下がはけない
- ② 家の中でつまずいたり滑ったりする
- ③ 階段を上るのに手すりが必要である
- ④ 横断歩道を青信号で渡りきれない
- ⑤ 15分くらい続けて歩けない
- ⑥ 2kg程度の買い物をして持ち帰るのが困難である
(1リットルの牛乳パック2個程度)
- ⑦ 家のやや重い仕事が困難である
(掃除機の使用、布団の上げ下ろしなど)



1つでも当てはまれば、ロコモの可能性が 있습니다。
今からロコモーショントレーニングを始めましょう！

ロコトレ ① 開眼片足立ち

回数の目安
左右1分間ずつ×1日3回

1 いすの横に背筋を伸ばして立つ。



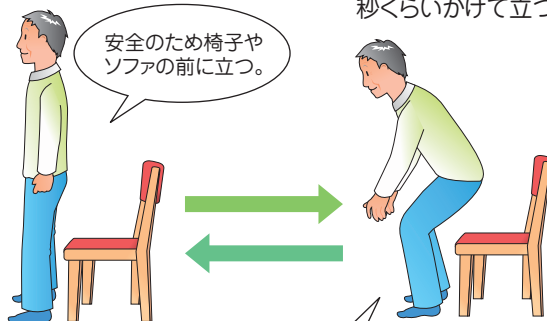
2 片方の足を床に着かない程度に持ち上げ、1分間保ちゆっくり足を下ろす。

ロコトレ ② スクワット

回数の目安
1セット5～6回×1日3セット

1 足を肩幅より広めに、つま先はかかとから30度くらい外に開き、体重が足の裏にかかるようにする。

2 いすに腰かけるように、5秒くらいかけてお尻を下ろし、5秒くらいかけて立つ。



安全のため椅子やソファの前に立つ。

膝は曲がっても90度を超えない程度、膝がつま先より前に出ないようにする。

※お尻は無理に下ろし過ぎず、痛みを感じない程度に。

ロコモ予防で、健康長寿！元気で素敵な明日のために。

資料：公益社団法人日本整形外科学会「ロコモパンフレット2010年度版」

「H25年度 教育計画」掲載の委員会主催による研修・開催期日の変更について

研修名 33 「魅力ある職場づくりを！」生き生きと働き続けるために
～WLB(ワークライフバランス)基礎編～
開催期日 (変更前) 7/16 → (変更後) 7/16 PM



栃木県看護大会『看護の日』記念行事

2013.5.11(土)

会場：栃木県総合文化センター メインホール
時間：10:00～15:00 入場無料

※ 記念講演 (13:30～15:00)

テーマ：「ダウン症の子と共に生きて」

金澤 泰子 (書家)



1943年、生れ。
1964年、短歌「馬場あき子に師事」。
1977年、書道「字書院(がくしよん)」に入会。
藤田泰子(やなぎたいたうん)に師事。
1985年6月、障子屋生。
1990年、書道「泰書會(たいしょかい)」に入会。藤田泰山(やなぎたいたいざん)に師事。
2008年7月、「書にはじまる」をビジネス社より出版。
2008年、「天使の正体」をかまくら春秋社より出版。
2010年、「天使がこの世に降り立てば」をかまくら春秋社より出版。

※ 栃木県看護大会式典 (10:00～11:20)

※ ふれあい看護体験発表 (11:35～12:00)

※ 「チアダンス」(13:00～13:20)

白鷺大学 HAPPY PECO

※ まちの保健室 (10:00～13:00)

- *健康相談・体脂肪測定
- *助産師の仕事・タッチケア
- *AEDの実演
- *災害支援ナース活動の紹介
- *訪問看護と介護保険相談
- *臓器移植のPR



※ お子様白衣モデル体験
～未来のナースの写真をどうぞ～
(10:00～13:00)

※ 進路・就職相談室 (10:00～13:00)

- ～育てよう看護のこころ～
- *看護師・保健師・助産師になるためには
- *仕事のこと、気になるあれこれ
- (現役看護師が対応します。)



ふれあい看護体験2013

県内45病院等にて実施
※詳細は栃木県看護協会にお問い合わせください。

主催：栃木県 公益社団法人栃木県看護協会 一般社団法人栃木県助産師会 特別社団法人日本精神科看護技術協会栃木支部
お問い合わせ先：公益社団法人栃木県看護協会 ☎028-625-6141

平成24年度物故者氏名

板橋 イク子 平成24年6月23日 68才
所属 公益社団法人栃木県看護協会

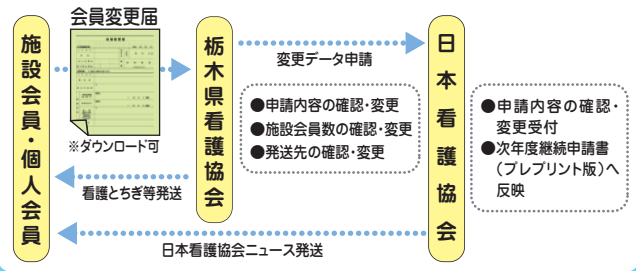
北澤 順子 平成24年9月28日 57才
所属 石橋総合病院

会員登録のお知らせ

登録施設に変更がある方は手続きください

異動で施設が変わった方、職場を退職した場合も手続きが必要です

会員変更届、提出の流れ



【会員変更届提出の注意事項について】

- ① 会員変更届はご本人が提出してください。
 - ② 会員変更届はFAXまたは郵送で送付ください。
 - ③ 電話による変更手続きはできません。
- ※ 会員変更届は、栃木県看護協会ホームページよりダウンロードができますのでご利用ください。
- ▶▶ <http://www.t-kango.or.jp>

ご不明な点はお電話でご相談下さい

〒320-8503 栃木県宇都宮市駒生町3337-1
とちぎ健康の森 4階
TEL 028-625-6141 FAX 028-625-8988
公益社団法人栃木県看護協会 会員登録担当

※お知らせ 会費の振込用紙が赤色～青色に変更になりました。必要な施設には郵送致しますのでご連絡ください。

第44回 日本看護学会 小児看護学術集会



開催日：平成25年9月12日(木)・13日(金)
会場：宇都宮市文化会館

9月12日(木) 10:30～11:40

特別講演 (一般公開)

テーマ「子どもの未来が輝くために～今、本当に必要なこと～」

講師 尾木直樹
教育評論家
法政大学教授・
教職課程センター長

9月13日(金)

教育講演 (一般公開)

10:00～11:00
テーマ「予防接種の現状と課題」
講師 福島啓太郎
獨協医科大学医学部 小児科講師

11:15～12:15
テーマ「食育から子どもの成長・発達を考える」
講師 林 芙美
千葉県立保健医療大学講師

主催：公益社団法人日本看護協会・栃木県看護協会 問い合わせ先 TEL 028-625-6141

第44回日本看護学会—小児看護—学術集会 特別企画

特別講演 (一般公開) 子どもの未来が輝くために ～今、本当に必要なこと～
尾木直樹(教育評論家、法政大学教授・教職課程センター長)
9月12日(木) 10:30～11:40
座長一河野順子(栃木県看護協会会長)

特別講演Ⅰ (一般公開) 予防接種の現状と課題
福島啓太郎(獨協医科大学医学部小児科講師、獨協医科大学病院感染制御センター講師)
9月13日(金) 10:00～11:00
座長一佐山静江(獨協医科大学病院副院長・看護部長)

特別講演Ⅱ (一般公開) 食育から子どもの成長・発達を考える
林 芙美(千葉県立保健医療大学栄養学講師)
9月13日(金) 11:15～12:15
座長一渡辺先子(済生会宇都宮病院看護副部長)

シンポジウム 生まれる前からの子育て支援
9月12日(木) 13:30～15:30
・高橋 信子(真岡市健康福祉部健康増進課母子健康係)
・野澤美枝子(那須赤十字病院小児科病棟看護師長、小児救急看護認定看護師)
・鈴木 悦子(中央児童相談所相談課児童虐待対応)
・福田 雅章(社会福祉法人養徳園総合施設長、児童養護施設養徳園園長)
・星 俊彦(自立援助ホーム「星の家」ホーム長)
座長一朝野春美(自治医科大学附属病院副院長・看護部長)
黒田光忠(自治医科大学附属病院地域医療連携部看護課室長、小児看護専門看護師)

セミナー (一般公開) 子どもの健やかな成長を願い笑顔をもとめて
9月13日(金) 13:00～14:00
石井裕子(NPO法人日本クリクラウン協会理事、クリニックカウンセラー)

交流集会 小児救急看護認定看護師の知識とスキル事例で学び、活かせる患者と家族への対応—
9月12日(木) 15:45～17:00
司会一竹股喜代子(日本看護協会看護研修学校校長)
白石裕子(日本看護協会看護研修学校小児救急看護学科教員)

論文作成支援講座
9月13日(金) 14:00～15:00
荒木暁子(日本看護協会学会委員会委員、千葉県千葉リハビリテーションセンター人材育成部長・看護部長心得)

「平成25年度 栃木県緩和ケア研修会」が開催されます。詳細は当協会HP (<http://www.t-kango.or.jp>)まで